

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	スナック（経営者）	来客数の動き	・1～2月と失速したので心配していたが、3月は持ち直したのではとほっとしている。伸びた要因としては、久しぶりに送別会の予約がたくさん入ったことや、近隣の建設ラッシュで工事の職人の飲食が増えたことがある。ようやくアフターコロナらしくなってきたのではないかと。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3月中旬から始まった北陸応援割の影響で、かなりの客が来館している。3か月前と比べると約150%の来客数で、売上も同様となっている。当社も、割り当てられた予算枠が約2時間で終了するほどの勢いだった。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は文字どおり、分刻みの忙しさで、葬儀の相談や依頼、仏壇の処分、法事等、非常に忙しかった。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・当地では春先に入って新入学用の販売等が始まり、多少心配していたものの、今までどおりの注文が入っているので、安心している。
	○	スーパー（経営者）	それ以外	・前年比で売上は10%増加、来客数は13%減少となっている。3月は16～17日と仕事が重なり、非常に忙しく、眠れない日々であった。30～31日はサッカーの試合があり注文予定もあるため、忙しくなる。今日は組合から1500円の弁当注文があり、8個を納品した。初めての注文なので今後も注文をもらえると有り難い。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・徐々に天候が良くなり、来客数も若干増えてきたので、売上の的にはやや伸びるといえるか、好調になる気配がある。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・春休み、ゴールデンウィークに向けての高揚感からか、来客数が増えている。暖かい日も増えてきているのでやや良くなっている。
	○	高級レストラン（経営者）	単価の動き	・コロナ禍に予約時の客単価が上がったが、高単価の状況が継続している。会食の回数が減った分なのか、良い物への注文傾向が高い。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・能登半島地震の支援策が決定したこと、また、人の動きが出る時期であることもあり、週末を中心に動きがあり、にぎわいのある日が多かった。地震の影響が少なからずあった時期からみると、影響がみられないほど上向いている。
	○	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・前年同期と比べて別荘の案内数が増加している。また、中古別荘の販売価格帯が上昇している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・北陸新幹線延伸に伴い、にぎわいを期待したものの、天候不順から桜の開花が遅れ、春休み期間は盛り上がり欠けている。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・既存店の来客数、買上単価が堅調である。
	□	スーパー（店長）	お客様の様子	・買上点数などに3か月前と比較して大幅な変化はない。来店動向については、値上げ前の集中した買物はあったことから、出費に関して客はシビアになっている。
	□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・春物の動きがない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・年々、集客数が減少している。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の供給正常化により、販売台数は安定している。一方、価格上昇の影響で、足元の受注は減少傾向にある。	
□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車検一般整備は目標をクリアしている。ただし、3月というとうと車両販売が活気付く月だが、その波は来ていない。円安も一層進み、これから更に物価が上昇するのではないかとということで、車両購入については慎重な要素がみられる。	

□	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・3月に入っても降雪等が続いているため、来客数が例年より減っている。
□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・不安定な天候のせいにしても仕方がないが、何とも動きが読みにくい。
□	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、地方の飲食店はますます駄目で、努力だけでは足りない。都会は良さそうだが、この差は何とかならないだろうか。
□	旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・申込みや来客数は変わらず堅調である。春休みの旅行の申込み等も増加傾向で、その先の旅行受注も堅調である。
□	タクシー運転手	販売量の動き	・ここ半年ほどの様子をみていると、前年比100%前後で推移しているが、新型コロナウイルス感染症発生前までには到底戻らない。まだまだである。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・特に目立った動きはないものの、サッカーや野球等、プロスポーツの開幕シーズンになるので、番組に関する問合せは増えてきている。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・販売量自体が年々落ち込んでいる。
□	観光名所（職員）	来客数の動き	・相変わらず、近隣スキー場は多くの外国人客で大変にぎわっているが、日本人の姿は余りみられない。特定の宿泊施設や飲食店は潤っているようである。
□	遊園地（職員）	来客数の動き	・春休みを迎えた学生を中心に、多くの客が来園している。
□	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・来客数に関しては前年と余り変化はない。株価高騰で不労所得を手にしたゴルファーもいる模様である。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・今月中旬から下旬は春休みに入った学生の来場が増えているが、それほどは伸びていない。団体利用も同様である。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順も1つの原因かもしれないが、街中への人出に全く回復の兆しがない。郊外店については分からないが、街中に住んでいる人たちでさえ出歩かないので、推して知るべしである。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・新生活、新入学等で比較的商品が動く時期ではあるが至って静かである。時代の背景なのかニーズの違いなのか専門店での購入が減少している。物価が上がり賃上げはそこそこでは消費者の購入意欲は高まらない。
▲	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・12月までは客の購買意欲も高かったが、1月の能登半島地震によって、緩やかな減速傾向にある。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・先行き不安のため、やや悪くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると下がっているが、前月比では横ばいである。3月という人の入れ替わりの時期も関係していると思うが、来客数はかなり減っている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・98%程度と、微々たる数値ではあるが、3か月連続で来客数の減少がみられる。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・2月は比較的気温が高く推移したため、売上が上向いたような気がするものの、今月は当初から気温が低下傾向で推移していたので、客の反応、購買が余り良くない。
▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の2019年まで、2～3月は同窓会や諸団体の総会等、地元客の需要が多かったが、今年はそうした動きが少ない。以前は慣例で行っていた会合等が、新型コロナウイルス感染症で途絶えてしまっている。インバウンドは増加傾向だが、マイナーな観光地ではまだまだ少ない。春休みに入り、首都圏からの家族旅行が回復傾向だが、全体では新型コロナウイルス感染症発生前と比較して、まだまだ客が少ない。
▲	ゴルフ場（副支配人）	お客様の様子	・以前の価格での優待券を配布しても、客の反応が良くない。
▲	設計事務所（職員）	来客数の動き	・依頼数はあるものの、なかなか進まない物件が多いため、手が空いてきている。

	×	スーパー（副店長）	来客数の動き	・3か月前は能登半島地震が発生し、世間的に自粛ムードだったが、今は落ち着いたとみている。ただし、景気が良くなったと感じるようなことはない。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・物価高で、来客数がかなり少なくなっている。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・急に特注受注が入り、生産が多忙である。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・納期の前倒し依頼が入り、買手側も慌ただしくなってきた印象を受けている。
	□	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・諸物価の上昇により、ワインのようなし好品は、後回しにされている。
	□	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・地金の価格高騰で、どこの会社も新商品を作れていなかったせいか、3月は新しいデザインの商材の売行きが良好である。一部店舗は好転しているものの、ほとんどの小売店舗は1～3月と、売行きは芳しくないとのことで、仕入意欲は乏しい。海外展示会での宝飾品販売も、中国の景気落ち込みが響き、中国からの来場者が減り、前年までの勢いはない。
	□	金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業の一部では、半導体関連の在庫調整解消に向けた兆しがみられるものの、依然として弱い動きが続いている。非製造業は物価高により節約志向が強まっており、個人消費に弱さがみられる。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・インバウンド需要の回復効果が出始めた3か月前と比較して、取引先の様子に大きな変化はみられない。株価の上昇、マイナス金利政策の解除等、外部要因が景気に与える状況は、今月はまだみられない。
	▲	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・商材価格の値上げをして準備が整ったところに、更なる資材や原料の値上げの話が来て、たちごっこである。これではまともに利益を上げられない。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売価格は変わらないが、受注量が増えてこない。
		×	*	*
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・経済状況が変わらないため、何も変わらない。
	□	求人情報製作会社（総務担当）	周辺企業の様子	・周辺には製造業やサービス業が多く、その様子をみても特別景気の良さはみえない。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前月に引き続き、ホテル関係でインバウンド需要や大人数での宴会、会議利用の復調に対応した求人が増加している。その他一部製造業で原材料不足による業務停滞から控えられていた採用活動の復活、また、建設業では公共工事等の総合工事業で求人の増加がみられたが、景気上昇の要因は余り感じられない。
	□	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・景気が上向き好循環を阻害する円安や原材料価格高騰の影響により、中小や零細企業を中心に改善の状況にない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人をけん引する製造業において、現場作業者の採用が引き続き多い。老人ホーム等、高齢者施設の採用も高止まりしている。
		▲	—	—
	×	—	—	—